

## 5月の寄贈品コーナー

### 「新資料紹介—自然部門—」

(5月1日～30日)

博物館には毎月多くの資料が収集されています。市民の方から寄贈していただいたもの、学芸員が調査をしながら収集したものなど、それぞれ整理され、収蔵室に保管されています。

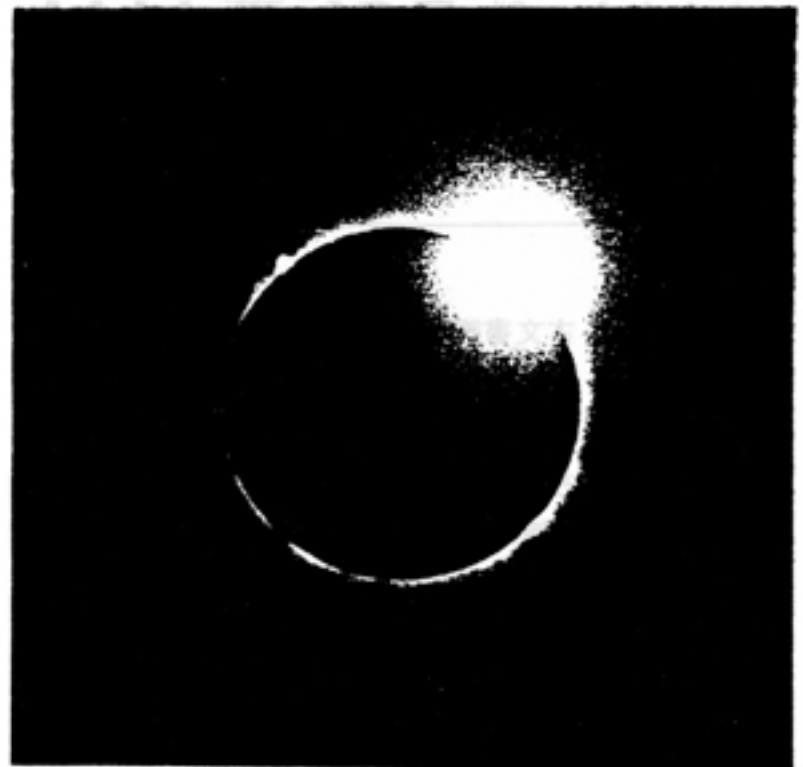
毎年、年度はじめの寄贈品コーナーでは、1年間に収集された新しい資料を展示しています。5月は生物と天文の新資料です。その中から、いくつかを御紹介しましょう。

●**珍しい竹の花** モウソウチクはめったに花を咲かせません。100年以上たって、はじめて花をつけ、その竹やぶは一斉に枯れてしまうことが知られています。昨年の秋、御殿場市で、約400本の竹やぶの内40本に花がつけました。その花の一部を富士竹類植物園の御好意で手に入れることができました。

●**山火事で死んだヤマカガシ** 今年の2月に湯河原で大きな山火事があったのを覚えていますか。火事の後、山を見回った県有林の方が、火に追われて樹上で力尽きたヤマカガシの死体を届けてくださいました。人間の不注意が招いた火事が、いかに動物や植物を傷つけたか、その姿は雄弁に語っています。

●**日食の写真** 昨年の9月に沖縄で金環食、今年の3月に小笠原で皆既日食が見られました。天文の最新情報としてこれらの日食の写真を展示します。

そのほかに、野鳥や植物の生態写真、江戸時代の暦などの天文資料を展示します。(浜口)



ダイヤモンドリング (1988年3月18日)  
丸 美千子さんの撮影・於パレンバン



モウソウチクの花 (穂状に咲く)

会津磐梯さんに咲くのは笹の花。  
これは飢饉のときの食糧になった。